

ソルゾール No.500-S

撚方向が右撚左撚の必要な撚種の場合、従来のオイリング剤では、オイリング剤と仮染染料との相溶性悪いために、分離、沈殿、粘度変化等のトラブルが発生することが多く、このため例えばポリエステル繊維のジョーゼット用撚糸の場合、一般的には糊溶液による糊付法が行われています。

しかし、この糊付法は、原糸パーンから撚糸用ボビンに巻取る間に糊溶液或いは油剤水溶液を吸収させ、未乾燥のまま巻取られるため、糊溶液の腐敗による分離、付着率変動、カビ等の発生の危険性があり、また、ボビン巻処理糸の硬度変化、毛羽立ち、強伸度低下等の経日変化を起こし、撚糸工程、製織工程の全天候的な成績の安定を計ることが大変困難になってまいります。

当社は永年の亘る研究により、従来のオイリング剤の欠点を解消した理想的な原液オイリング用油剤を開発上市し、各方面で好評を得ております。

用途

レーヨン・ベンベルグ・アセテート・ナイロン・ポリエステル繊維の強撚糸用オイリング剤

撚種

ジョーゼット・クレープ・パレス・シャー・ボイル等の各種撚糸用

特徴

- (1) ソルゾール No.500-S は化合繊維の撚糸用原液オイリング剤として最適です。
- (2) ソルゾール No.500-S は平滑防電性に特に優れています。
- (3) ソルゾール No.500-S は低粘度のオイリング剤のため繊維をベタつかせません。
- (4) ソルゾール No.500-S は安定性に優れ、染料と混合しても分離、沈殿する事はありません。
- (5) ソルゾール No.500-S は水洗性に優れているため、精練時に完全に除去されます。
- (6) ソルゾール No.500-S はマッキーテストに合格し酸化、変色の危険がありません。

仮染染料との割合調合

ソルゾール No.500-S	1 5 k g
指定仮染染料	6 0 ~ 1 5 0 g (ソルゾール No.500-S の 0.4~1.0%)
パスオイル E (染料溶解剤)	3 0 0 ~ 7 5 0 g (仮染染料の 5 倍量)

調合順序

- (1) 仮染染料を計量し、18ℓ入以上のポリバケツに入れる。
 - (2) パスオイル E を計量し (1) の染料中に徐々に注入し攪拌しながら染料を溶解する。
 - (3) (2) で溶解した染料液中にソルゾール No.500-S を投入し全量をよく攪拌する。
- ※ 上記の方法は原液オイリングであるので、水分は一切使用しないように御注意ください。

使用法

上記で作成された調合油剤を原液のまま 1~5% (OWF) ローラー式オイリング方法によって給油してください。

荷姿

液状・・・・・・ 1 5 k g 詰

平安油脂化学工業株式会社

本社・工場 兵庫県養父市八鹿町朝倉 73 電話 (079) 662-2151・FAX(079)662-2153

京都営業所 京都市上京区菱丸町 181 電話 (075) 431-0321・FAX(075)431-0325

福井営業所 福井市洲 4 丁目 1215-103 電話 (0776) 35-3530・FAX(0776)34-1453